

平成28年度  
**事業概要**  
(平成27年度実績)



兵庫県食肉衛生検査センター

# 目次

## 第1章 施設等の総説

1	沿革	1
2	組織	3
3	職員数	3
4	分掌事務	4
5	食肉衛生検査機関、食肉センター及び 大規模食鳥処理場(年間処理羽数が30万羽を超えるもの)の位置図	5
6	検査機関別所管食肉センター及び食鳥処理場	6
7	所管食肉センター一覧表	7
8	所管大規模食鳥処理場一覧表	8
9	施設の状況及び位置図	
	(1)食肉衛生検査センター	9
	(2)西播磨食肉衛生検査所	9
	(3)但馬食肉衛生検査所	10
	(4)淡路食肉衛生検査所	10
10	と畜検査手数料	11
11	食鳥検査手数料	11
12	と畜場別使用料一覧表	11

## 第2章 検査事業

### 【と畜検査】

1	と畜検査概要	12
2	と畜検査頭数年度別推移(過去10年間)	13
3	食肉センター別、畜種別と畜検査頭数(場内、切迫)	14
4	食肉センター別、月別と畜検査頭数	15
5	食肉センター別、勤務時間内外病畜・切迫と畜検査頭数(過去10年間)	17
6	と殺解体禁止又は廃棄したものの原因別頭数	18
7	と殺解体禁止又は廃棄したものの食肉センター別頭数及び延件数	19
8	精密検査実施結果	20
9	食肉センター別病類表	22
10	産地別と畜検査頭数	25

## 【食鳥検査】

1 食鳥検査概要	27
2 食鳥検査羽数年度別推移(過去10年間)	28
3 大規模食鳥処理場別検査羽数	29
4 大規模食鳥処理場別、月別検査羽数	30
5 と殺、内臓の摘出禁止又は廃棄したものの原因別羽数	32
6 精密検査実施後の合格件数	32
7 産地別検査羽数	33
8 認定小規模食鳥処理場の確認状況	34

## 【モニタリング検査】

1 残留有害物質モニタリング検査	35
------------------	----

## 第3章 食肉安全対策事業

1 食肉センター及び食鳥処理場の衛生指導事業	36
2 研修等の受け入れ状況	36
3 食肉検査業務にかかる見学等の受け入れ状況	37
4 食肉検査等にかかる外部講習会	37
5 食肉検査データ還元事業	38
6 食の安全安心と食育に関する条例の制定と兵庫県食品衛生管理プログラム	39

## 第4章 研修・調査研究

1 食肉衛生検査センター内研修	40
2 調査研究発表・演題一覧(平成21年度～平成27年度)	41

## 1 沿革

食肉衛生検査行政は、明治4年の大蔵省布達「屠牛取締方ヲ定ム」により始まる。

その後、明治39年に「屠場法」が制定され、昭和28年には同法の全面改正が行われ、新たに「と畜場法」が制定され、現在に至っている。

この間、食肉衛生検査は、警察部から内務部、経済部へと移管され、昭和23年からは衛生部の出先機関である保健所が所管することとなった。

戦後、わが国の経済が復興、高度成長する中、食肉センター(と畜場)では、食肉消費の増大に伴いと畜頭数が増加する一方で、老朽化した食肉センターが廃止され、各地の食肉センターの集約化が進められていった。

このような状況に対応するため、本県では、昭和44年頃から、と畜検査員の集中配置を進め、昭和48年及び昭和49年に、西宮、高砂及び竜野保健所の内部組織として食肉衛生検査室を設置した。

さらに、昭和63年4月1日、食肉検査精度の更なる向上と食肉の衛生確保の強化を図るため、「食肉衛生検査センター設置条例」に基づき、現在の当センターを設置し、その内部組織として、阪神、西播磨に食肉衛生検査所を設けるとともに、総務課、検査第1課、検査第2課のほか、和田山、洲本に分室を設け、従来は各地の保健所に置かれていた検査部門を統合し、県下の食肉衛生検査行政を一元的に実施する体制を整備した。

平成4年4月1日、「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」の制定により、食鳥検査業務が新たに加わったことに対応するため、当センターに技術管理課を設置するとともに、和田山、洲本の分室を但馬、淡路食肉衛生検査所に改組した。

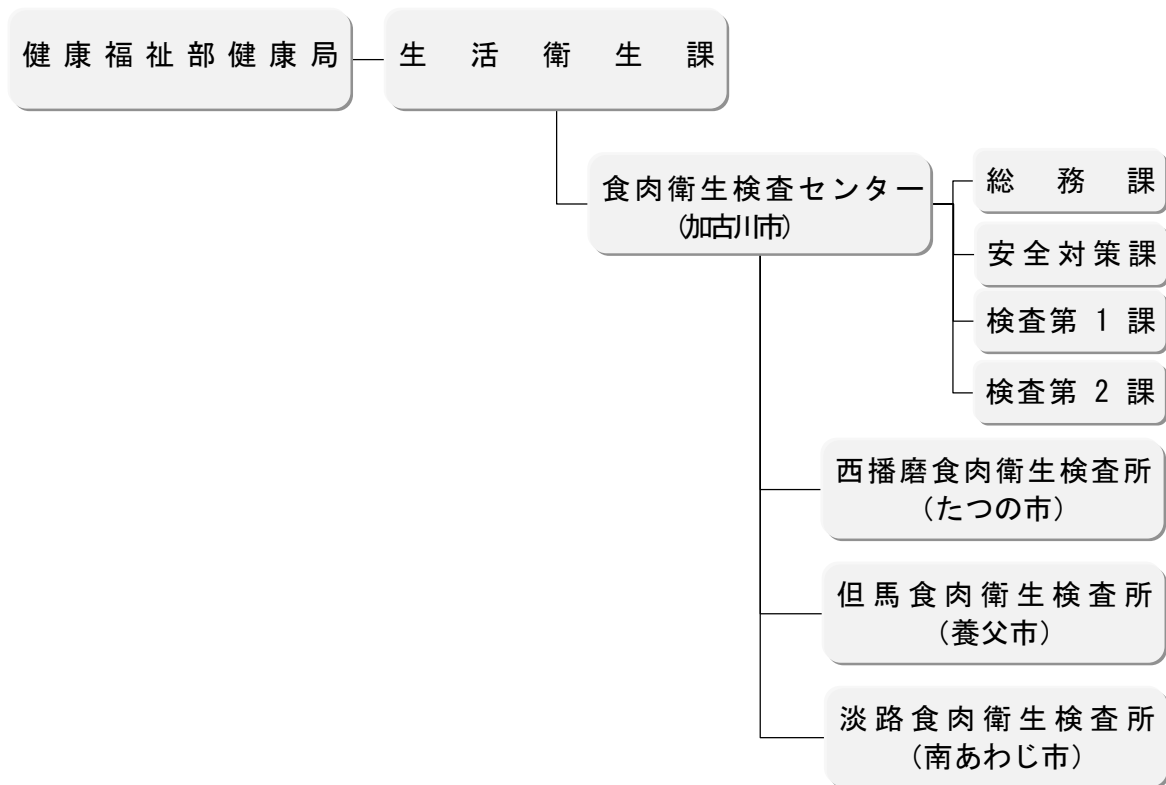
平成13年4月1日、腸管出血性大腸菌O157等の感染症対策をはじめとする危機事案への対応の強化を図るため、当センターに安全対策課を設置した。

平成24年3月31日、組織改変に伴い技術管理課を廃止した。

昭和 48. 4. 1	西宮保健所に食肉衛生検査室を設置
昭和 49. 4. 1	高砂、竜野保健所に食肉衛生検査室を設置
昭和 50. 4. 1	西宮保健所食肉衛生検査室を阪神食肉衛生検査所に改組
昭和 51. 4. 1	高砂保健所食肉衛生検査室を東播食肉衛生検査所に改組
昭和 51. 4. 1	竜野保健所食肉衛生検査室を西播食肉衛生検査所に改組
昭和 54. 3. 31	高砂保健所東播食肉衛生検査所の新築、完成
昭和 54. 4. 1	高砂保健所東播食肉衛生検査所を加古川保健所へ移管
昭和 55. 3. 31	西宮保健所阪神食肉衛生検査所の新築、完成
昭和 56. 2. 24	竜野保健所西播食肉衛生検査所の新築、完成
昭和 56. 10. 21	和田山保健所和田山食肉衛生検査事務室の新築、完成
昭和 57. 4. 1	東播食肉衛生検査所を東播磨食肉衛生検査所に、西播食肉衛生検査所を西播磨食肉衛生検査所に名称変更
昭和 58. 1. 12	洲本保健所洲本食肉衛生検査事務室の新築、完成

昭和 61. 3. 31	竜野保健所西播磨食肉衛生検査所の増築、完成
昭和 62. 3. 12	加古川保健所東播磨食肉衛生検査所の新築、完成
昭和 63. 3. 5	西宮保健所阪神食肉衛生検査所の新築、完成
昭和 63. 4. 1	設置条例に基づいて食肉衛生検査センターを設置 食肉衛生検査センターに総務課、検査第1課、検査第2課、阪神食肉衛生検査所、西播磨食肉衛生検査所、和田山分室、洲本分室を設置
平成 04. 3. 31	食肉衛生検査センターの会議研修室の新築、完成 西播磨食肉衛生検査所の増築、完成
平成 04. 4. 1	食肉衛生検査センターに技術管理課を新設、和田山、洲本両分室を但馬、淡路食肉衛生検査所に改組
平成 05. 5. 31	但馬食肉衛生検査所の新築、完成
平成 07. 5. 10	淡路食肉衛生検査所の新築、完成
平成 12. 3. 31	阪神食肉衛生検査所の廃止(西宮市が保健所設置政令市となったため)
平成 13. 4. 1	食肉衛生検査センターに安全対策課を設置
平成 14. 3. 31	食肉衛生検査センターの事務所増築、完成
平成 24. 3. 31	食肉衛生検査センターの技術管理課を廃止

## 2 組織



## 3 職員数

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

区 分		事務職	技術職	小 計	非常勤嘱託員 (と畜・食鳥検査事務)	合 計
食 肉 衛 生 検 査 セ ン タ ー	総 務 課	3 (1)	1	4 (1)		4 (1)
	安全対策課		5	5		5
	検査第 1 課		4 (1)	4 (1)	3	7 (1)
	検査第 2 課		4 (1)	4 (1)	5	9 (1)
西播磨食肉衛生検査所			9 (2)	9 (2)	3	12 (2)
但馬食肉衛生検査所			8	8	6	14
淡路食肉衛生検査所			7 (2)	7 (2)	7	14 (2)
合 計		3 (1)	38(6)	41 (7)	24	65 (7)

(※)検査センター所長は総務課の技術職に含めた。

(※)再任用職員は、( )内書きした。

(※)臨時的任用職員は該当者なし。

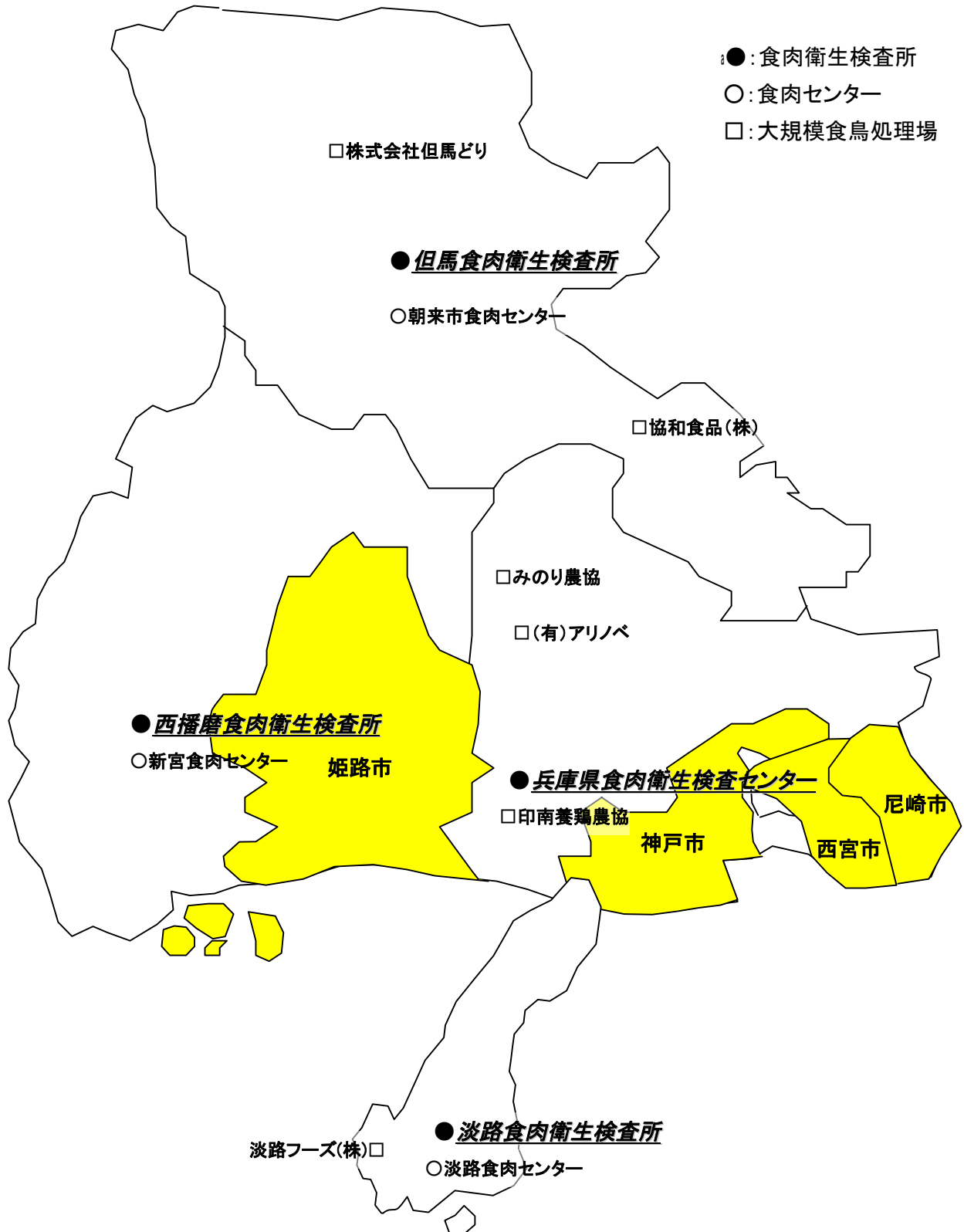
#### 4 分掌事務

課 所 名	分 掌 事 務
総 務 課	1 庶務に関すること。 2 経理に関すること。 3 職員の身分証の発行に関すること。 4 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しないこと。
安 全 対 策 課	1 食肉衛生に関する危機管理体制の整備に関すること。 2 と畜場及び食鳥処理場におけるHACCPの導入促進に関すること。 3 食肉衛生に関する情報資料の収集、提供に関すること。 4 健康福祉事務所等関係機関との連携、調整に関すること。 5 と畜及び食鳥の精密検査に関すること。 6 と畜検査員及び食鳥検査員の実務研修に関すること。 7 と畜場及び食鳥処理場内の食品衛生法に基づく検査及び措置に関すること。 8 と畜検査及び食鳥検査の調査研究に関すること。 9 食肉検査データ還元事業に関すること。
検 査 第 1 課	1 と畜の衛生検査及び措置に関すること。 2 と畜場外におけると畜解体に関すること。 3 と畜場の衛生指導(HACCP導入指導を含む)に関すること。 4 と畜業者の衛生教育に関すること。 5 輸出肉に関すること。 6 と畜の統計事務に関すること。
検 査 第 2 課	1 食鳥の衛生検査及び措置に関すること。 2 食鳥処理場の衛生指導(HACCP導入指導を含む)に関すること。 3 食鳥処理事業者及び食鳥処理衛生管理者の衛生教育に関すること。 4 食鳥の統計事務に関すること。
食肉衛生検査所	1 と畜及び食鳥の衛生検査及び措置に関すること。 2 と畜場及び食鳥処理場内の食品衛生法に基づく検査及び措置に関すること。 3 と畜場及び食鳥処理場の衛生指導(HACCP導入指導を含む)に関すること。 4 と畜業者及び食鳥処理事業者の衛生教育に関すること。 5 と畜及び食鳥の統計事務に関すること。

## 5 食肉衛生検査機関、食肉センター及び

### 大規模食鳥処理場(年間処理羽数が30万羽を超えるもの)の位置図

(平成28年3月31日現在)





## 6 検査機関別所管食肉センター及び食鳥処理場

(平成28年3月31日現在)

検査機関	所在地	電話	FAX	所管
食肉衛生検査センター	〒 675-0332 加古川市志方町横大路36-1	079 452-0945	079 452-3485	○加古川食肉センター □みのり農業協同組合 加工センター □印南養鶏農業協同組合 食鳥センター □有限会社アリノベ 八千代工場  認定小規模食鳥処理場 38施設
西播磨食肉衛生検査所	〒 679-4322 たつの市新宮町仙正36-1	0791 75-4060	0791 75-4135	○新宮食肉センター  認定小規模食鳥処理場 9施設
但馬食肉衛生検査所	〒 667-0112 養父市養父市場入谷口1282-8	079 665-0848	079 665-0882	○朝来市食肉センター □株式会社但馬どり 但馬食鶏流通センター □協和食品株式会社  認定小規模食鳥処理場 13施設
淡路食肉衛生検査所	〒 656-0152 南あわじ市倭文長田49-18	0799 46-0190	0799 46-0186	○淡路食肉センター □淡路フーズ株式会社  認定小規模食鳥処理場 6施設

○:食肉センター □:大規模食鳥処理場

7 所管食肉センター一覧表

(平成28年3月31日現在)

事項 食肉センター	検印 番号	設置者	管理者	許可年月日	所在地	規模		建築様式	1日処理能力	
						敷地面積	建築面積		大動物	小動物
加古川 食肉センター	3	(公財)加古川 食肉公社	加古川食肉産業 協同組合	昭和60. 11. 26	加古川市志方町志方町533	m <sup>2</sup> 13,226.00	m <sup>2</sup> 5,964.28	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造	頭 125	頭 0
新宮 食肉センター	7	たつの市	越部 と畜場協同組合	平成13. 3. 8	たつの市新宮町仙正34-1	9,944.72	3,354.35	鉄骨造	50	300
朝来市 食肉センター	11	朝来市	(株)和田山 食肉公社	昭和48. 5. 24	朝来市和田山町林垣268-1	6,940.44	1,544.04	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造	19	4
淡路 食肉センター	15	淡路広域 行政事務組合	あわじ島 農業協同組合	平成11. 12. 1	南あわじ市市小井441-6	4,723.00	1,510.00	鉄筋コンクリート 鉄骨造	40	4

## 8 所管大規模食鳥処理場一覧表

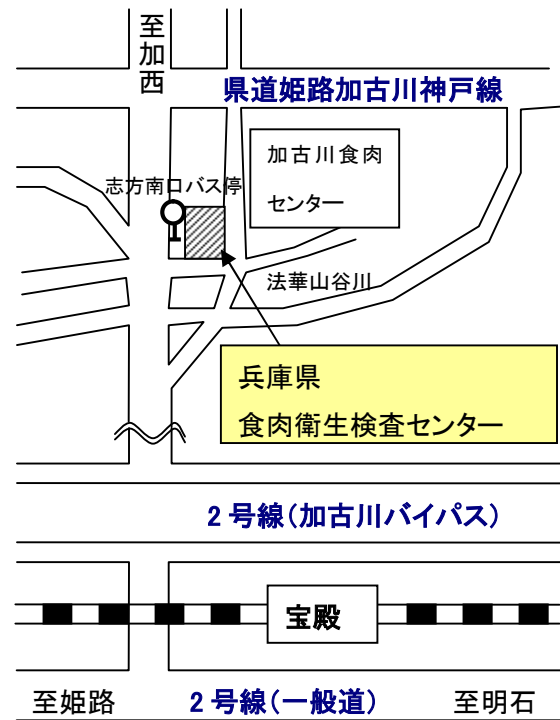
(平成28年3月31日現在)

事項 食鳥処理場	代表者	許可等年月日	所在地	処理方法	主な食鳥の種類
みのり農業協同組合 加工センター	代表理事組合長 上 羅 堯 己	平成4. 3. 25	多可郡多可町加美区山野部161-1	中抜き 外はぎ	ブロイラー
印南養鶏農業協同組合 食鳥センター	代表理事組合長 松 尾 邦 光	平成16. 6. 9	加古川市西神吉町岸802	中抜き 外はぎ	成 鶏
有限会社アリノベ 八千代工場	代表取締役 有 延 秀 棋	平成4. 3. 27	多可郡多可町八千代区中野間458	中抜き 外はぎ	成 鶏
株式会社但馬どり 但馬食鶏流通センター	代表取締役社長 島 原 道 範	平成27. 4. 1	豊岡市日高町浅倉45	中抜き	ブロイラー
協和食品株式会社	代表取締役 糟 谷 和 俊	平成4. 3. 25	丹波市春日町七日市75	中抜き	ブロイラー
淡路フーズ株式会社	代表取締役 山 本 巖	平成4. 3. 31	南あわじ市湊129-1	外はぎ	ブロイラー

## 9 施設の状況及び位置図

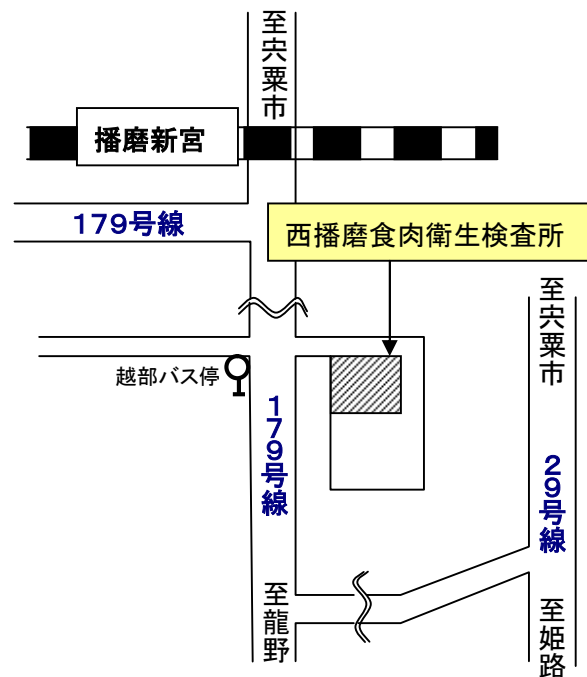
### (1) 食肉衛生検査センター

名 称		食肉衛生検査センター
所 在 地		加古川市志方町横大路 36-1
土 地	用 途	食肉衛生検査センター敷地
	敷 地 面 積	912.00 m <sup>2</sup>
	所 有 区 分	県有
	取得(借受)年月日	昭和 61. 5. 31
建 物	建 物 の 構 造	鉄筋コンクリート・鉄骨造 平家建
	延 面 積	445.68 m <sup>2</sup>
	所 有 区 分	県有
	取得(借受)年月日	昭和 62. 3. 12



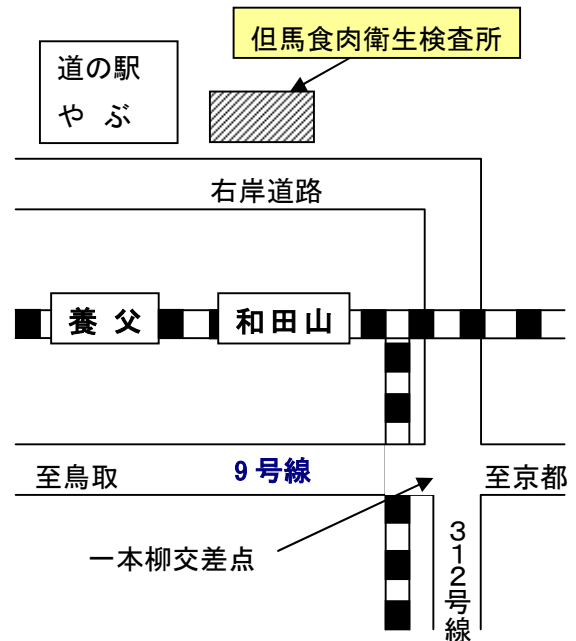
### (2) 西播磨食肉衛生検査所

名 称		西播磨食肉衛生検査所
所 在 地		たつの市新宮町仙正 36-1
土 地	用 途	西播磨食肉衛生検査所敷地
	敷 地 面 積	250.00 m <sup>2</sup>
	所 有 区 分	借地
	取得(借受)年月日	昭和 55. 7. 1 (借受)
建 物	建 物 の 構 造	鉄骨造 2 階建
	延 面 積	218.00 m <sup>2</sup>
	所 有 区 分	県有
	取得(借受)年月日	昭和 56. 2. 24



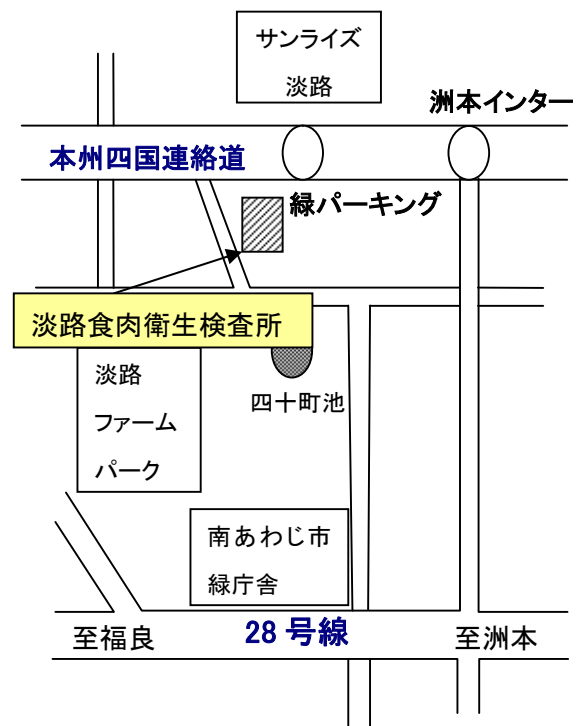
(3) 但馬食肉衛生検査所

名 称		但馬食肉衛生検査所
所 在 地		養父市養父市場入谷口 1282-8
土 地	用 途	但馬食肉衛生検査所敷地
	敷 地 面 積	2315.32 m <sup>2</sup>
	所 有 区 分	県有
	取得(借受)年月日	平成 4. 11. 9
建 物	建 物 の 構 造	鉄筋コンクリート造平家建
	延 面 積	356.80 m <sup>2</sup>
	所 有 区 分	県有
	取得(借受)年月日	平成 5. 5. 31



(4) 淡路食肉衛生検査所

名 称		淡路食肉衛生検査所
所 在 地		南あわじ市倭文長田 49-18
土 地	用 途	淡路食肉衛生検査所敷地
	敷 地 面 積	498.25 m <sup>2</sup>
	所 有 区 分	県有
	取得(借受)年月日	平成 6. 8. 30
建 物	建 物 の 構 造	鉄筋コンクリート造 3 階建
	延 面 積	412.76 m <sup>2</sup>
	所 有 区 分	県有
	取得(借受)年月日	平成 7. 5. 10



## 10 と畜検査手数料

牛	馬	とく・駒	豚	めん羊	山 羊	備 考
490 円	490 円	165 円	165 円	165 円	165 円	昭和 63. 4. 1 改正

## 11 食鳥検査手数料

時 間 内	時 間 外	備 考
3 円	4 円	平成 4. 4. 1 実施

## 12 と畜場別使用料一覧表

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

事項 食肉 センター	と 畜 場 使 用 料							備 考	改正年月日
	牛	馬	と く	豚	めん羊	山 羊			
加古川	円 3,240 6,480	円 3,240 6,480	円 1,080 2,160	円	円	円	午前 8 時 30 分 ～午後 1 時 時間外病畜、切迫	平成 14. 3. 31	
新 宮	2,500	2,500	1,000	1,000	1,000	1,000	駒 1,000 円	昭和 61. 4. 1	
朝来市	9,000	9,000	3,100					平成 11. 7. 21	
淡 路	7,020	7,020	4,320				駒 4,320 円	平成 12. 10. 23	

## 1 と畜検査概要

### (1) 食肉衛生検査センター

加古川食肉センターを所管し、解体方法はオンレール方式である。検査畜種は牛、馬、とく及び駒である。平成 27 年度の実績は 8,593 頭で、内訳は牛(8,584 頭)、馬(1 頭)、とく(8 頭)であった。平成 26 年度と比較すると 1,718 頭減少している。牛の集荷状況は、県内が 3,170 頭(36.9%)で、県外では鹿児島県 1,737 頭(55%)、北海道 1,291 頭(41%)、香川県 354 頭(12%)の順であった。全部廃棄頭数は牛で 48 頭であり、原因疾病別の主なものは牛白血病 24 頭(50%)、敗血症 10 頭(20%)、尿毒症 5 頭(10%)、黄疸 5 頭(10%)であった。

### (2) 西播磨食肉衛生検査所

新宮食肉センターを所管し、大動物処理棟・小動物処理棟・病畜棟があり解体方法はオンレール方式である。検査畜種は牛、馬、とく及び駒、めん羊、山羊、豚である。平成 27 年度の実績は 37,365 頭で、内訳は牛 4,940 頭、とく 9 頭、豚 32,416 頭であった。牛の集荷状況は、県内が 1,673 頭(34%)で、県外の主な集荷先は岡山 1,906 頭(39%)、鳥取 314 頭(6%)、愛知 304 頭(6%)であった。豚の集荷状況は、県内が 2,352 頭(7%)で、県外の主な集荷先は埼玉 8,800 頭(27%)、広島 6,559 頭(20%)、鳥取 6,028 頭(19%)、愛知 3,627 頭(11%)であった。全部廃棄頭数は牛で 105 頭、豚で 46 頭であった。牛の主な全部廃棄の原因疾病は、牛白血病 41 頭(39%)、敗血症 18 頭(17%)、膿毒症 20 頭(19%)、尿毒症 7 頭(7%)、高度の黄疸 7 頭(7%)であった。豚の主な全部廃棄の原因疾病は豚丹毒 17 頭(37%)、膿毒症 11 頭(24%)、炎性産物等による汚染(全身性)9 頭(20%)であった。

### (3) 但馬食肉衛生検査所

朝来市食肉センターを所管し、平成 27 年度の実績は 1,275 頭で、すべて牛であった。管内は但馬牛の繁殖雌牛が多数飼育されていることもあり、黒毛和種廃用牛が 549 頭(43.1%)、黒毛和種肥育牛が 558 頭(43.8%)、乳廃牛が 168 頭(13.2%)の構成となっている。また、月齢別に見てみると、48 か月齢超の牛が 629 頭(49.3%)、30 か月齢超 48 か月齢以下の牛が 575 頭(45%)、30 か月齢以下の牛が 71 頭(5.5%)の構成となっている。集荷先は県内が 1,207 頭(95%)とほとんどを占めており、地域産業に必要な食肉センターとなっている。全部廃棄頭数は 23 頭(1.8%)で、原因疾病の主な内訳は、牛白血病 7 頭(32%)、膿毒症 4 頭(18%)、高度の黄疸 4 頭(18%)、尿毒症 3 頭(14%)であった。

### (4) 淡路食肉衛生検査所

淡路食肉センターを所管しており、解体方法はオンレール方式である。検査畜種は、牛、馬、とく及び駒のみである。平成 27 年度の実績は 2,065 頭で、内訳は牛(2,063 頭)、とく(2 頭)であった。

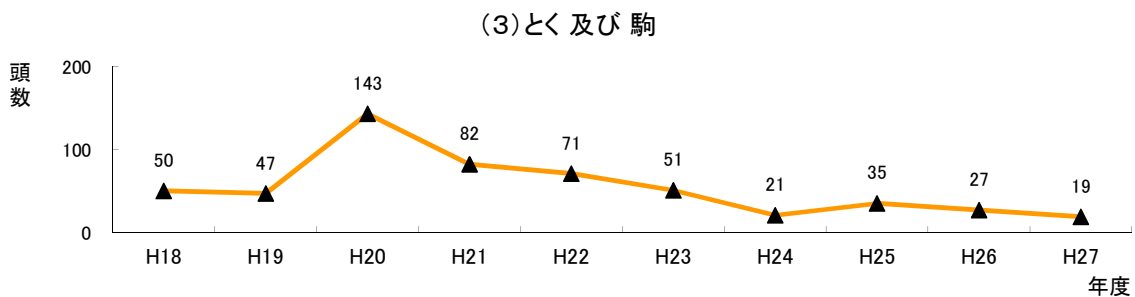
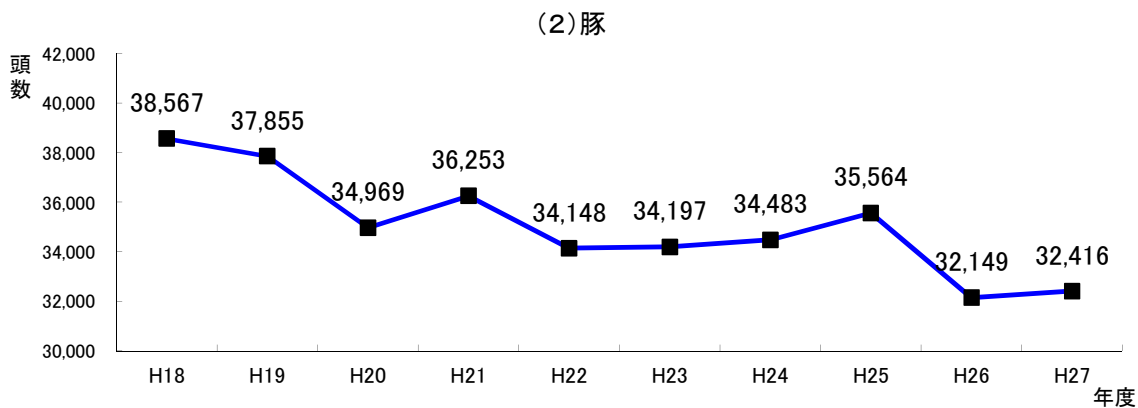
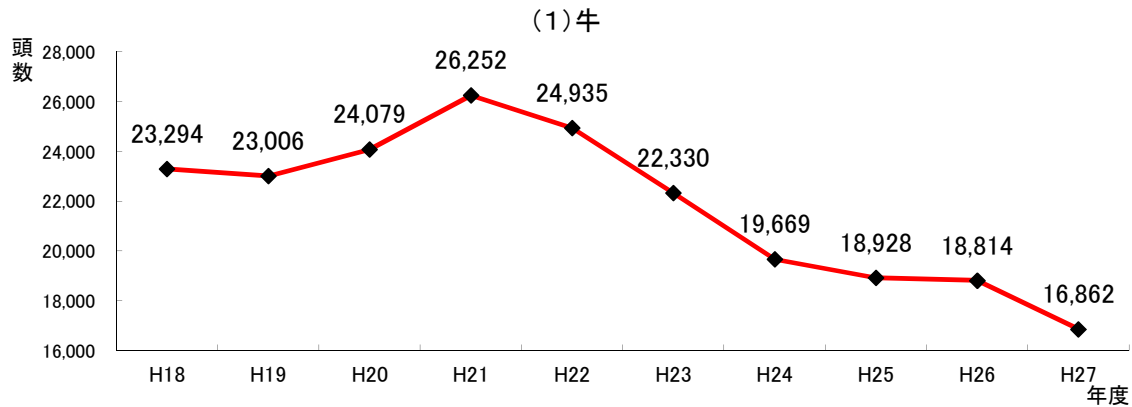
集荷家畜の状況は、県内産が約 78%(1,618 頭)を占めており、淡路島内で発生する病畜の大部分が搬入される地域産業に必要な不可欠な食肉センターである。

全部廃棄頭数は牛で 82 頭あり、原因疾病は牛白血病 46 頭(56%)、敗血症 17 頭(21%)、膿毒症 4 頭(5%)であった。

淡路島は肉用牛・乳用牛の飼育も多く、近畿圏における有数の畜産・酪農地域であることから、飼育者・診療獣医師からの解体所見等に関する問い合わせも多く、また畜産関係団体や農林行政・研究機関との連携も緊密に行っている。

## 2 と畜検査頭数年度別推移(過去10年間)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
牛	23,294	23,006	24,079	26,252	24,935	22,330	19,669	18,928	18,814	16,862
豚	38,567	37,855	34,969	36,253	34,148	34,197	34,483	35,564	32,149	32,416
とく・駒	50	47	143	82	71	51	21	35	27	19
馬	1	9	13	7	6	6				1
めん羊										
山羊			1	1	1					
合計	61,912	60,917	59,205	62,595	59,161	56,584	54,173	54,527	50,990	49,298





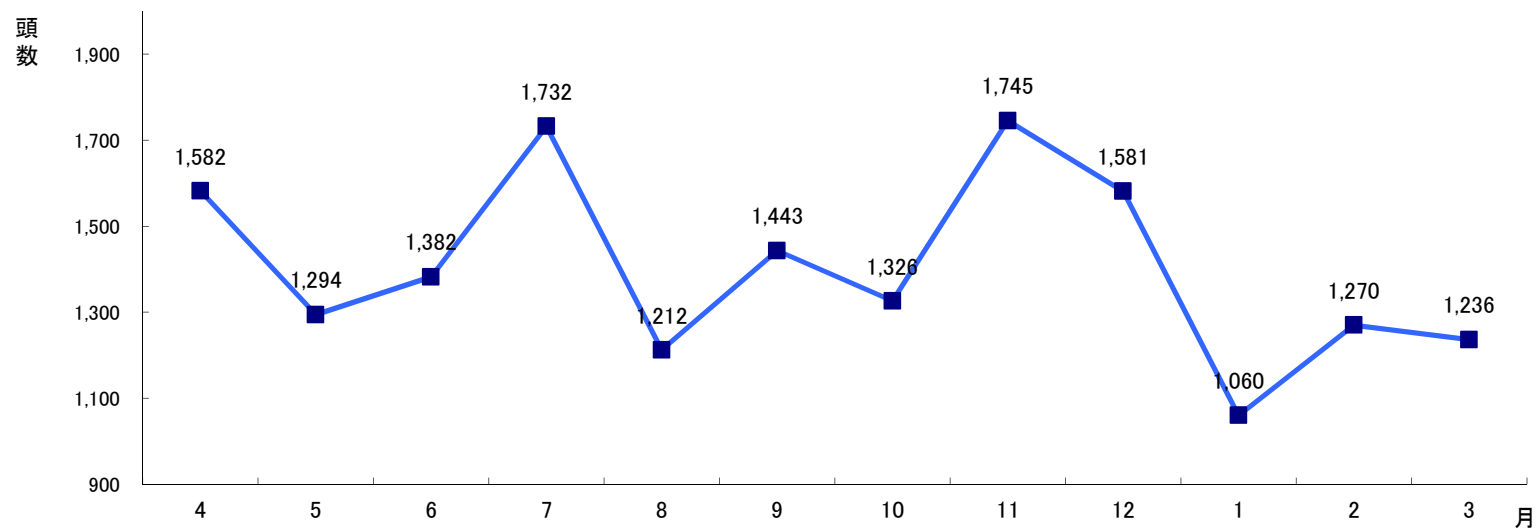
3 食肉センター別、畜種別と畜検査頭数(場内、切迫)(H27)

区分 食肉 センター	牛			馬			大動物計			とく及び駒			豚			めん羊			山羊			小動物計			総計		
	場内	切迫	計	場内	切迫	計	場内	切迫	計	場内	切迫	計	場内	切迫	計	場内	切迫	計	場内	切迫	計	場内	切迫	計	場内	切迫	計
加古川	8,584		8,584	1			8,585		8,585	8		8							8		8	8,593			8,593		
新宮	4,940		4,940				4,940		4,940	9		9	32,416		32,416				32,425		32,425	37,365			37,365		
朝来市	1,275		1,275				1,275		1,275													1,275			1,275		
淡路	2,063		2,063				2,063		2,063	2		2							2		2	2,065			2,065		
合計	16,862		16,862				16,863		16,863	19		19	32,416		32,416				32,435		32,435	49,298			49,298		

#### 4 食肉センター別、月別と畜検査頭数

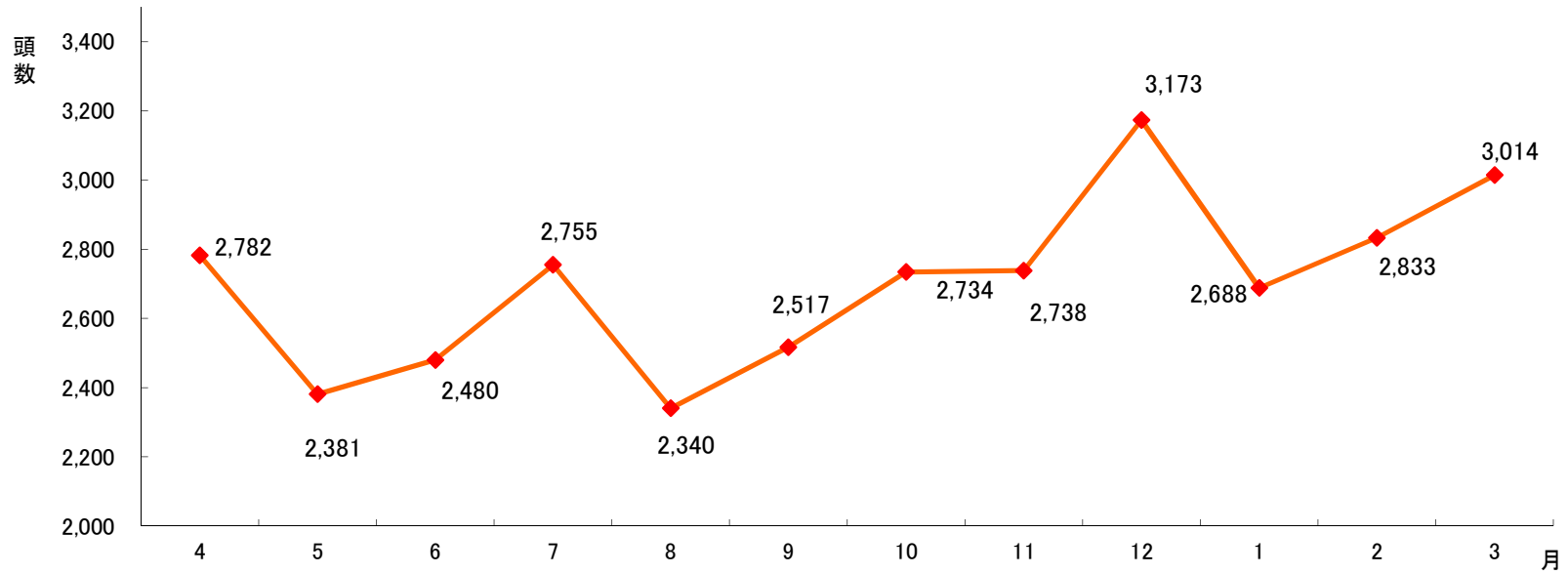
##### (1)大動物

月 食肉センター	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
加古川	904	719	754	972	554	679	609	940	807	503	573	571	8,585
新宮	374	352	358	432	366	480	450	482	473	361	436	376	4,940
朝来市	111	69	110	112	114	107	96	134	140	77	91	114	1,275
淡路	193	154	160	216	178	177	171	189	161	119	170	175	2,063
合計	1,582	1,294	1,382	1,732	1,212	1,443	1,326	1,745	1,581	1,060	1,270	1,236	16,863



(2)小動物

月 食肉センター	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
加古川	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	1	8
新宮	2,781	2,381	2,480	2,754	2,338	2,517	2,734	2,738	3,173	2,687	2,829	3,013	32,425
朝来市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
淡路	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
合計	2,782	2,381	2,480	2,755	2,340	2,517	2,734	2,738	3,173	2,688	2,833	3,014	32,435



5 食肉センター別、勤務時間内外病畜・切迫と畜検査頭数(過去10年間)

食肉センター	年 度		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	区 分	勤 務 時 間										
加古川	病畜	内	626	443	420	309	252	193	190	302	351	343
		外	7	5	9	3	5	6	4	5	3	6
	切迫	内										
		外										
新宮	病畜	内	841	592	458	542	722	702	646	661	614	517
		外	30	42	25	28	11	17	17	8	13	5
	切迫	内										
		外										
朝来市	病畜	内	275	249	275	336	238	118	122	98	120	143
		外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	切迫	内										
		外										
淡路	病畜	内	1,036	956	1,031	907	941	758	669	632	571	539
		外	9	7	9	3	5	3	4	1	1	6
	切迫	内										
		外										
合 計	病畜	内	2,778	2,240	2,184	2,094	2,153	1,771	1,627	1,693	1,656	1,542
		外	46	54	43	34	21	26	25	14	17	17
	切迫	内										
		外										

6 と殺解体禁止又は廃棄したものの原因別頭数(H27)

種類	処分	処分実頭数	疾病別頭数																						計		
			細菌病							ウイルス・リケッチア病	原虫病	寄生虫病	その他の疾病														
			炭疽	豚丹毒	サルモネラ病	結核病	ブルセラ病	破傷風	放線菌病	その他	豚コレラ	その他	トキソプラズマ病	その他	のう虫	ジストマ	その他	膿毒	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	中毒諸症		炎症又は炎症産物	変性又は萎縮
牛	禁止																										
	全部廃棄	256														28	47	17	18	6	7			11		123	257
	一部廃棄	11,216						8	1					132	4			6	164	20				8,557	6,396	814	16,102
とく	禁止																										
	全部廃棄	2														1	1										2
	一部廃棄	15																	1					14	3	2	20
馬	禁止																										
	全部廃棄																										
	一部廃棄	1																						1			1
豚	禁止																										
	全部廃棄	46	17													11	3	2		2				9		2	46
	一部廃棄	25,926							615					768					72	1				25,793	924	267	28,440
めん羊	禁止																										
	全部廃棄																										
	一部廃棄																										
山羊	禁止																										
	全部廃棄																										
	一部廃棄																										
合計	禁止																										
	全部廃棄	304	17													40	50	19	18	8	7			20		125	304
	一部廃棄	37,158						8	616					132	772			6	237	21				34,366	7,323	1,083	44,564

7 と殺解体禁止又は廃棄したものの食肉センター別頭数及び件数

種類	食肉センター 処分	加古川		新宮		朝来市		淡路		合計	
		実頭数	延件数	実頭数	延件数	実頭数	延件数	実頭数	延件数	実頭数	延件数
牛	禁 止										
	全部廃棄	48	48	105	105	23	23	81	81	257	257
	一部廃棄	4,926	6,577	3,915	5,847	986	1,442	1,389	2,237	11,216	16,103
とく	禁 止										
	全部廃棄			2	2					2	2
	一部廃棄	7	11	6	7			2	2	15	20
馬	禁 止										
	全部廃棄										
	一部廃棄	1	1							1	1
豚	禁 止										
	全部廃棄			46	46					46	46
	一部廃棄			25,926	28,440					25,926	28,440
めん羊	禁 止										
	全部廃棄										
	一部廃棄										
山羊	禁 止										
	全部廃棄										
	一部廃棄										
合計	禁 止										
	全部廃棄	48	48	153	153	23	23	81	81	305	305
	一部廃棄	4,934	6,589	29,847	34,294	986	1,442	1,391	2,239	37,158	44,564

## 8 精密検査実施結果

### (1) 精密検査実施頭数及びそれに基づく措置頭数

項目 内訳	精密検査 実施頭数	精密検査に基づく措置実施頭数															
		禁止			全部廃棄			一部廃棄			合格			合計			
		牛	豚	他	牛	豚	他	牛	豚	他	牛	豚	他	禁止	全廃	一廃	合格
一般畜	138				74	24		2			34	4			98	2	38
病畜	164				133						31				133		31
切迫畜																	
合計	302				207	24		2			65	4			231	2	69

### (2) 精密検査項目実施数

検査項目 検査対象 疾病等の内訳	検査延頭数	細菌検査				病理		理化学検査	血液検査	抗菌性物質				その他	検査延件数	措置(延頭数)			
		直接鏡検	好気培養	嫌気培養	同定	直接鏡検	組織検査			簡易	分別推定	高速液相	他			と解体禁止	全部廃棄	一部廃棄	合格
炭疽																			
豚丹毒	19	24	101	73	11	8	30							247		17		2	
サルモネラ病																			
結核病																			
トキソプラズマ病																			
ヒストプラズマ病																			
膿毒症	3	1	15	15	2									33		2		1	
放線菌病																			
敗血症 - 症状心内膜炎	46	71	252	241	34	2	24		1					625		41		5	
- その他	8	6	38	38	7	4	10		1					104		6		2	
非定型抗酸菌症																			
気腫疽																			
その他																			
尿毒症	47							55	1					57		18		29	
黄疸	41							53	2					55		18		23	
腫瘍 - 白血病	130					541	1,162	566	600					47	2,916	123		7	
- その他	11					42	91	48	41					4	226	7	2	2	
炎症																			
変性、萎縮、水腫																			
残抗検査 - 一般畜	19							2		36				38				19	
- 病畜	38									82				82				38	
- 切迫畜																			
その他	1	3				3	3							9				1	
合計	363	105	406	367	54	600	1,320	724	646	118				52	4,392	232	2	129	

(3)BSEスクリーニング検査頭数

施設	年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27年度											合計		
												4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3	計
食肉衛生 検査センター		12,770	12,518	12,779	13,712	15,714	14,045	12,579	9,972	3,949	2,156	192	150	157	153	143	152	139	170	157	109	129	147	1,798	111,992
西播磨食肉 衛生検査所		5,991	5,619	5,469	5,513	5,557	5,942	5,529	5,639	3,318	2,545	199	180	149	212	154	236	212	226	222	175	223	168	2,356	53,478
但馬食肉 衛生検査所		1,156	1,148	1,168	1,192	1,300	1,331	1,142	1,194	798	681	58	39	52	58	62	46	56	64	58	38	48	50	629	11,739
淡路食肉 衛生検査所		4,594	4,059	3,637	3,805	3,763	3,688	3,131	2,885	1,942	1,399	111	91	91	131	106	108	107	107	104	85	116	103	1,260	34,163
合計		24,511	23,344	23,053	24,222	26,334	25,006	22,381	19,690	10,007	6,781	560	460	449	554	465	542	514	567	541	407	516	468	6,043	211,372

※BSE検査対象牛

・H15.10.18～H25.6.30:全頭

・H25.7.1～:検査対象を月齢48ヶ月超に改正



## 9 食肉センター別病類表

(1) 牛

病名	食肉センター	加古川	新宮	朝来市	淡路	計
呼吸器系	肺炎	292	280	142	92	806
	胸膜炎	264	204	118	15	601
	横隔膜炎	438	101	13	29	581
	その他呼吸器(炎症)	24	1	5	57	87
	その他呼吸器(変性)	19	3	5	0	27
循環器系	心外膜炎	106	282	31	114	533
	心内膜炎	2	0	0	15	17
	その他循環器(炎症)	8	20	5	17	50
	その他循環器(変性)	36	195	9	24	264
消化器系	胆管炎	776	100	136	137	1149
	胆石	215	23	27	15	280
	肝蛭寄生	95	7	15	15	132
	肝炎	254	221	95	82	652
	肝膿瘍	392	211	29	66	698
	退色肝	159	1133	31	196	1519
	肝静脈炎	113	11	19	7	150
	鋸屑肝	852	191	49	45	1137
	肝富脈斑	675	806	92	247	1820
	肝硬変	42	36	26	4	108
	その他肝臓(炎症)	386	524	70	286	1266
	その他肝臓(変性)	95	482	37	114	728
	胃炎	159	244	46	110	559
	大腸炎	166	319	82	40	607
	小腸炎	217	638	214	81	1150
	腹膜炎	55	107	32	0	194
	その他消化器(炎症)	35	12	9	4	60
その他消化器(変性)	24	190	20	2	236	
泌尿生殖器	膀胱炎	346	92	35	59	532
	腎炎	41	182	20	360	603
	膀胱結石	278	49	21	19	367
	乳房炎	34	365	23	173	595
	その他泌尿生殖器(炎症)	50	72	32	56	210
	その他泌尿生殖器(変性)	55	28	68	188	339
運動器	関節炎	135	461	83	245	924
	脱臼	39	42	11	50	142
	筋炎	81	119	27	223	450
	挫傷	968	624	131	116	1839
	骨折	13	15	2	5	35
	その他運動器(炎症)	34	19	13	190	256
	その他運動器(変性)	18	8	6		32

病名	食肉センター	加古川	新宮	朝来市	淡路	計
その他	脂肪壊死	1359	332	474	164	2329
	放線菌症	4	1	1	2	8
	その他細菌病	1	0	0	0	1
	その他のウイルス病	0	0	0	0	0
	その他原虫病	0	0	0	0	0
	その他寄生虫病	1	0	0	0	1
	黄疸	5	0	1	0	6
	水腫	62	40	7	65	174
	腫瘍	9	6	2	9	26
	炎性産物等による汚染	0	0	0	0	0
	奇形	1	55	2	10	68
	萎縮	0	0	0	0	0
	臓器の異常	1	397	19	196	613
	胎子	44	131	27	98	300
計	9,478	9,379	2,362	4,042	25,261	
と畜検査頭数		8,584	4,940	1,275	2,063	16862
全部廃棄	膿毒症	0	20	4	4	28
	敗血症	10	18	2	17	47
	尿毒症	5	7	3	2	17
	黄疸	5	7	4	2	18
	水腫	0	3	0	3	6
	腫瘍	3	1	0	3	4
	中毒諸症	0	0	0	0	0
	牛白血病	24	41	7	46	118
	白血病	1	5	0	0	6
	奇形	0	0	0	0	0
	萎縮	0	0	0	0	0
	炎性産物等による汚染	0	3	3	5	11
	臓器の異常	0	0	0	0	0
計	48	105	23	82	258	

## (2) 豚

病名	食肉センター	新宮	
呼吸器系	肺炎	19,939	
	胸膜炎	3,855	
	横隔膜炎	6	
	その他呼吸器(炎症)	0	
	その他呼吸器(変性)	0	
循環器系	心外膜炎	1,726	
	心内膜炎	0	
	その他循環器(炎症)	1	
	その他循環器(変性)	19	
	肝炎	8,497	
消化器系	肝膿瘍	8	
	退色肝	808	
	肝硬変	13	
	胆管炎	1	
	胆石	1	
	その他肝臓(炎症)	1,467	
	その他肝臓(変性)	73	
	胃炎	118	
	大腸炎	814	
	小腸炎	6,606	
	腹膜炎	112	
	その他消化器(炎症)	1	
	その他消化器(変性)	0	
	泌尿生殖器	膀胱炎	12
		腎炎	67
膀胱結石		10	
その他泌尿生殖器(炎症)		1	
その他泌尿生殖器(変性)		2	
運動器	関節炎	233	
	筋炎	102	
	挫傷	181	
	脱臼	1	
	骨折	3	
	その他運動器(炎症)	8	
	その他運動器(変性)	0	
	その他細菌病	626	
その他	その他寄生虫病	779	
	黄疸	0	
	水腫	72	
	腫瘍	1	
	炎性産物等による汚染	0	
	奇形	164	
	臓器の異常	100	
	胎子	5	
	その他	0	
	計	46,432	
	と畜検査頭数	32,416	
全部廃棄	豚丹毒	17	
	膿毒症	11	
	敗血症	3	
	尿毒症	2	
	黄疸	0	
	水腫	2	
	白血病	2	
	腫瘍	0	
	炎性産物等による汚染	9	
	臓器の異常	0	
	計	46	

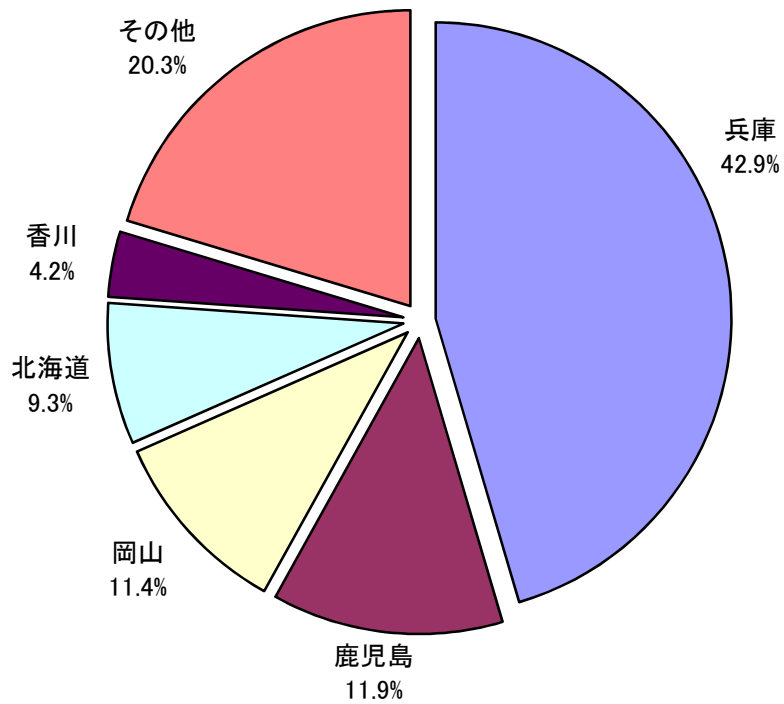
## (3) とく

病名	食肉センター	加古川	新宮	朝来市	淡路	計
呼吸器系	肺炎	3	2		1	6
	胸膜炎	2	1			3
循環器系	その他循環器(変性)					
消化器系	肝炎	2				2
	退色肝	2	1			3
	大腸炎	2	1			3
	小腸炎	2	2			4
	腹膜炎					
	その他肝臓(炎症)	1				1
	その他消化器(炎症)		1			1
	膀胱炎					
泌尿生殖器	腎炎		1			1
	その他泌尿生殖器(炎症)	1				
	その他泌尿生殖器(変性)		1			
運動器	関節炎	1	1		1	3
	挫傷	3	1			4
	筋炎	1	1			
	脱臼	2				
	その他運動器(炎症)		1			
その他	水腫	1				1
計	23	14		3	32	
と畜検査頭数	8	9	0	2	19	
全部廃棄	膿毒症		1			1
	敗血症		1			
計		2			2	

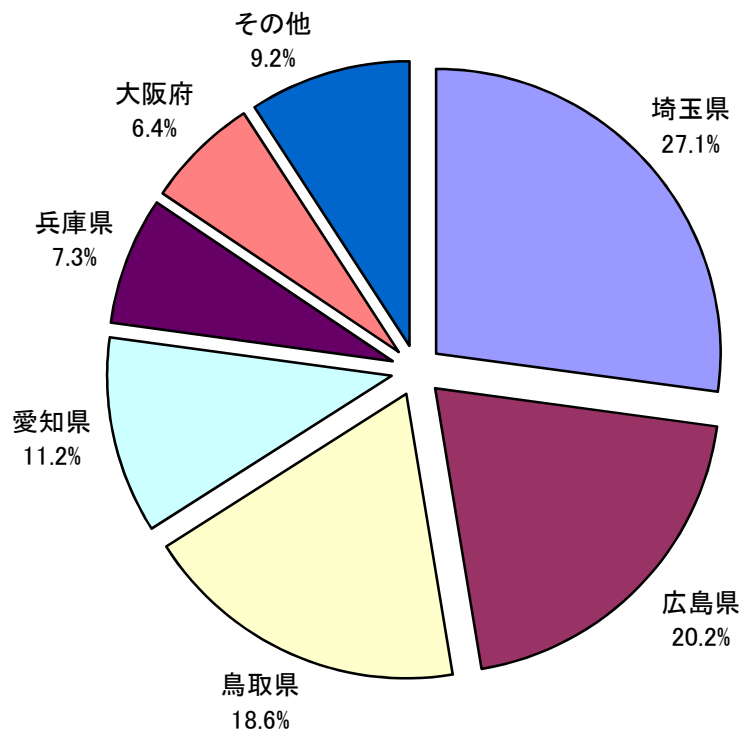
10 産地別と畜検査頭数

種類 産地	牛						馬	とく	豚	合計
	和牛	乳交雑牛	乳肥育牛	乳廃牛	肉専用種	小計				
兵庫	3,955	819	573	2,312	3	7,662		11	2,352	10025
北海道	26	491	759	24		1,300				1300
青森										0
岩手										0
宮城	14					14				14
秋田										0
山形										0
福島										0
茨城	67	6	29	2		104				104
栃木										0
群馬		3				3				3
埼玉									8,800	8800
千葉			1			1				1
東京										0
神奈川										0
新潟	14	10			1	25				25
富山				9		9				9
石川										0
福井	28			11		39				39
山梨										0
長野		3		20		23				23
岐阜	12			80		92				92
静岡				20		20			1,997	2017
愛知	17	6	6	385		414			3,627	4041
三重			4	112		116				116
滋賀		33		30		63				63
京都	15	5	1	222	29	272			12	284
大阪				15		15			2,079	2094
奈良				47		47				47
和歌山	26			6		32				32
鳥取	25		2	298		325			6,028	6353
島根	26			52	48	126			922	1048
岡山	193	857	476	602	1	2,129				2129
広島	10			16		26			6,559	6585
山口	144	104		13		261				261
徳島	159	177	13	84		433				433
香川	164	214	1	222		601				601
愛媛	7	244		37	3	291			40	331
高知	5		1	250	1	257				257
福岡		5		1		6				6
佐賀		1				1				1
長崎	99	67			5	171				171
熊本		103		1	1	105				105
大分										0
宮崎	55	68			14	137				137
鹿児島	1,731			8	3	1,742				1742
沖縄										0
合計	6,792	3,216	1,866	4,879	109	16,862	0	11	32,416	49289

(1)産地別牛と畜検査頭数



(2)産地別豚と畜検査頭数



## 1 食鳥検査概要

### (1) 食肉衛生検査センター

大規模食鳥処理場を3カ所(1カ所はブロイラー、2カ所は成鶏を処理)、認定小規模食鳥処理場を38カ所所管している。いずれの処理場も外はぎ方式による解体を行っている。

平成27年度の大規模食鳥処理場での検査羽数は4,307,036羽で県内全体の28%を占め、そのうち91%(約393万3千羽)は成鶏である。産地別にみると、ブロイラーでは99%、成鶏で66%が県内産であった。

成鶏において脱羽後検査での解体禁止の内訳は腹水症11,204羽(41.0%)、内臓摘出後検査での全部廃棄は腫瘍24,407羽(96.7%)、一部廃棄では主に筋肉の出血89,984羽(81.3%)が上位を占めた。

ブロイラーにおいて脱羽後検査での解体禁止は削瘦7,136羽(87.4%)、内臓摘出後検査での全部廃棄はマレック病2,074羽(78.2%)、腹水症307羽(11.6%)、一部廃棄では炎症性疾患9,858羽(77.6%)が上位を占めた。

認定小規模食鳥処理場における処理羽数は、ブロイラー169,898羽(93.0%)、成鶏12,756羽(7.0%)であった。

### (2) 西播磨食肉衛生検査所

認定小規模食鳥処理場を9カ所所管している。いずれの処理場も外はぎ方式による解体を行っている。処理した食鳥の内訳はブロイラー4,564羽(7.3%)、成鶏57,917羽(92.7%)とほとんどが成鶏であった。

### (3) 但馬食肉衛生検査所

大規模食鳥処理場を2施設所管している。平成27年度の検査羽数はブロイラー9,507,163羽で、ほぼ前年度並みであった。但馬地域はブロイラー生産が盛んな地域であり、当所の検査羽数はブロイラーにおいて兵庫県全体の81.6%を占めている。なお、産地別検査羽数は、兵庫県81.2%、京都府6.5%、三重県3.8%、岡山県2.8%の順となっている。

脱羽後検査での解体禁止は66,833羽で、主な原因は削瘦32,910羽(49.2%)、皮膚炎14,047羽(21.0%)であった。内臓摘出後検査での全部廃棄は30,456羽で、主な原因は腹水症16,806羽(55.2%)、大腸菌症7,238羽(23.8%)、全身性の炎症4,244羽(13.9%)であった。解体禁止と全部廃棄の合計は97,289羽で検査羽数の1.0%であり、それぞれ前年から大きな変動はなかった。

認定小規模食鳥処理場(13施設)ではブロイラー、成鶏、あひる(合鴨)あわせて188,414羽が処理され、そのうち基準に適合しなかったものが2,266羽であった。

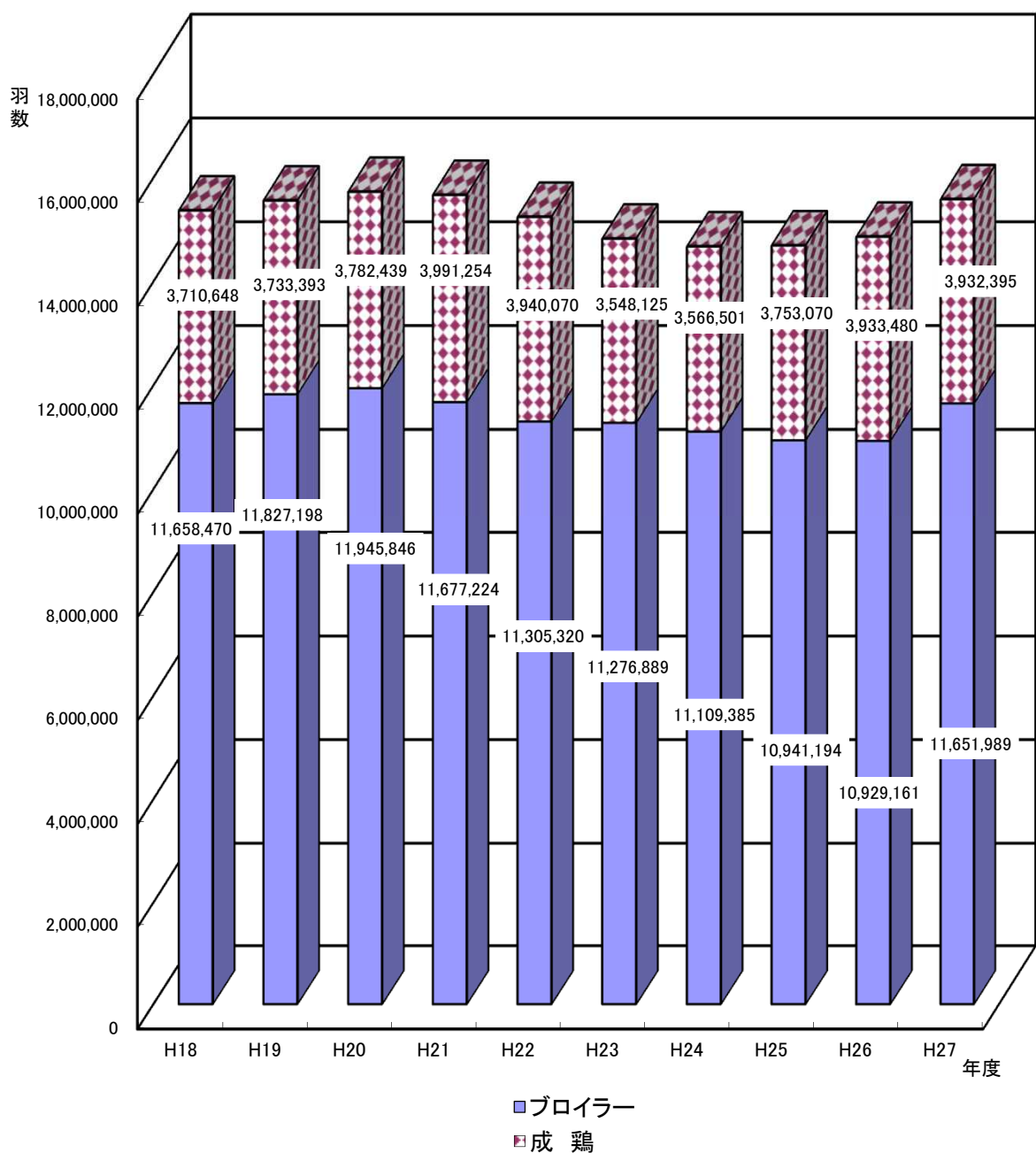
### (4) 淡路食肉衛生検査所

大規模食鳥処理場を1カ所(ブロイラー処理)、認定小規模食鳥処理場を6カ所所管している。平成27年度の大規模食鳥処理場での検査羽数は1,770,185羽で、ほぼ前年度同様の処理羽数であった。

脱羽後検査では、削瘦による解体禁止処分が14,710羽あり、内臓摘出後検査では、大腸菌症、腹水症、炎症等により26,349羽が全部廃棄処分され、一部廃棄188,346羽には筋肉内出血等が多く認められた。また、認定小規模食鳥処理場での処理羽数は、6,650羽であり、いずれの処理場も外はぎ方式による解体を行っている。

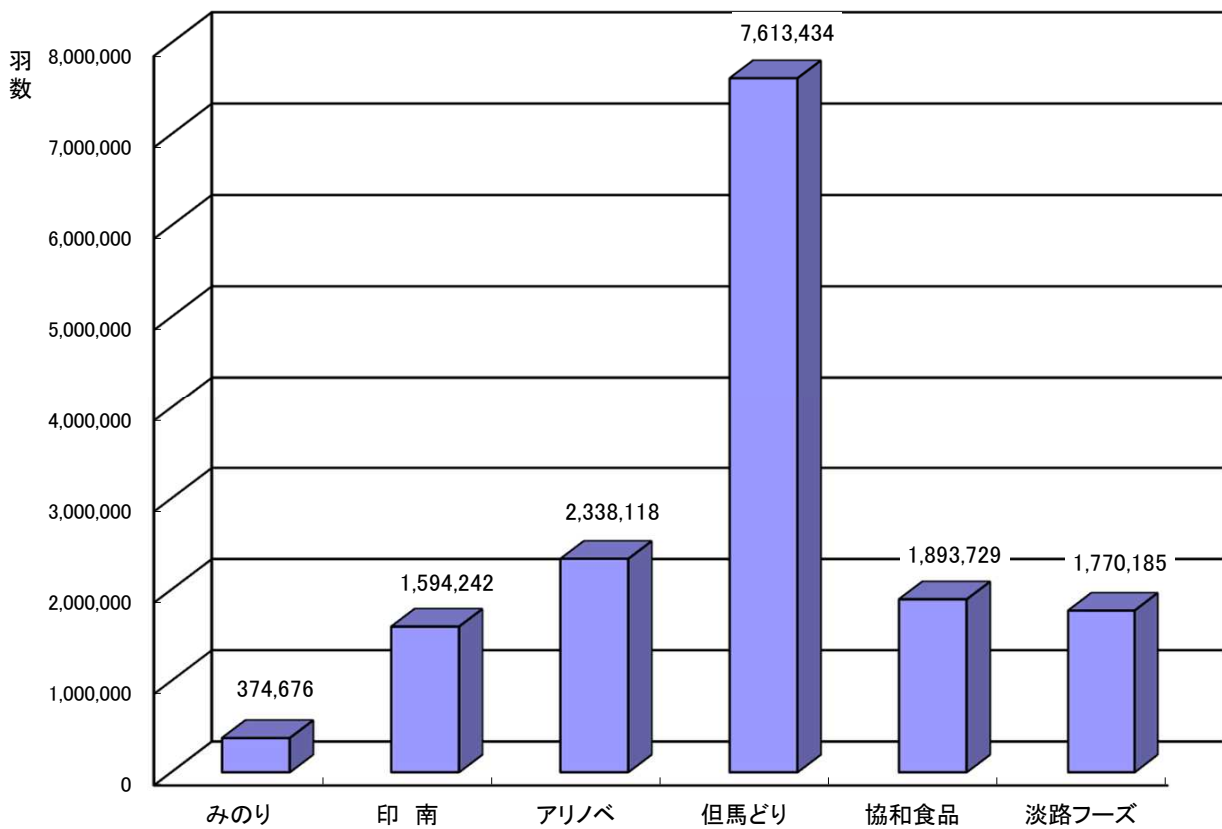
## 2 食鳥検査羽数年度別推移(過去10年間)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
ブロイラー	11,658,470	11,827,198	11,945,846	11,677,224	11,305,320	11,276,889	11,109,385	10,941,194	10,929,161	11,651,989
成 鶏	3,710,648	3,733,393	3,782,439	3,991,254	3,940,070	3,548,125	3,566,501	3,753,070	3,933,480	3,932,395
合 計	15,369,118	15,560,591	15,728,285	15,668,478	15,245,390	14,825,014	14,675,886	14,694,264	14,862,641	15,584,384



### 3 大規模食鳥処理場別検査羽数

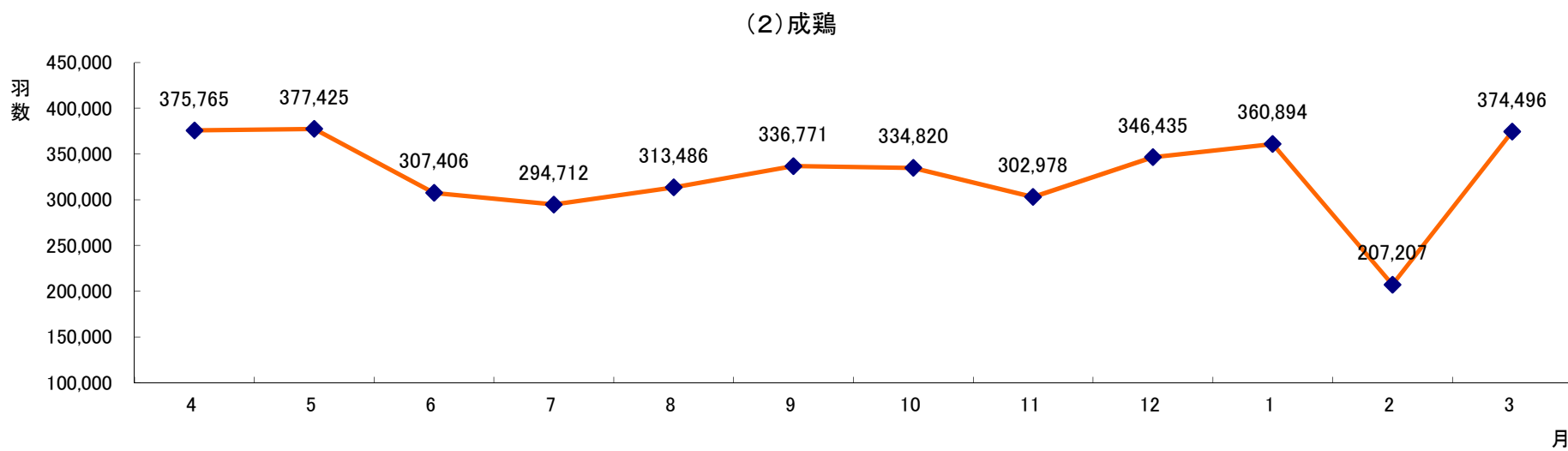
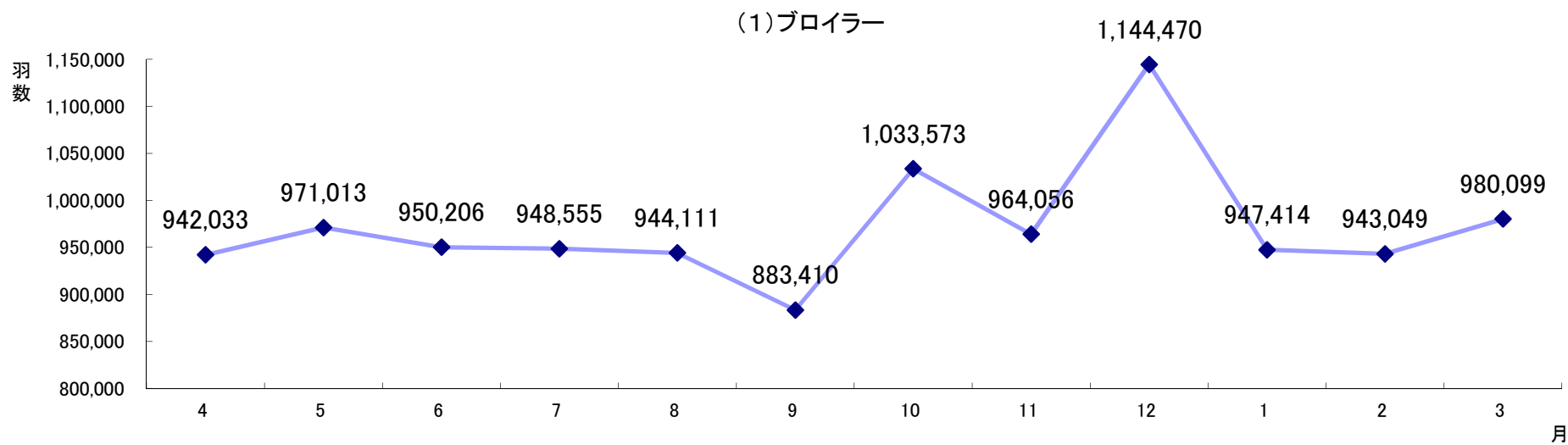
処 理 場 名	時間内	時間外	小 計
みのり農業者 協同組合 加工センター	ブロイラー	374,664	374,676
	成 鶏	0	0
	計	374,664	374,676
印南養鶏 農業協同組合 食鳥センター	ブロイラー	0	0
	成 鶏	1,168,128	1,594,242
	計	1,168,128	1,594,242
(有)アリノベ 八千代工場	ブロイラー	0	0
	成 鶏	1,824,072	2,338,118
	計	1,824,072	2,338,118
株式会社 但馬どり 但馬食鶏流通センター	ブロイラー	3,356,261	7,613,434
	成 鶏	0	0
	計	3,356,261	7,613,434
協和食品 株式会社	ブロイラー	1,031,208	1,893,729
	成 鶏	0	0
	計	1,031,208	1,893,729
淡路フーズ 株式会社	ブロイラー	1,769,948	1,770,150
	成 鶏	0	35
	計	1,769,948	1,770,185
合 計	ブロイラー	6,532,081	11,651,989
	成 鶏	940,160	3,932,395
	計	7,472,241	15,584,384





#### 4 大規模食鳥処理場別、月別検査羽数

処 理 場 名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
みのり 農業協同組合 加工センター	ブロイラー	27,370	29,158	30,473	31,395	31,887	31,556	33,061	30,595	38,128	30,607	30,415	30,031	374,676
	成 鶏													
	計	27,370	29,158	30,473	31,395	31,887	31,556	33,061	30,595	38,128	30,607	30,415	30,031	374,676
印南養鶏 農業協同組合 食鳥センター	ブロイラー													
	成 鶏	156,293	175,631	143,588	107,015	130,782	100,109	148,335	131,032	121,153	152,088	76,869	151,347	1,594,242
	計	156,293	175,631	143,588	107,015	130,782	100,109	148,335	131,032	121,153	152,088	76,869	151,347	1,594,242
(有)アキノベ 八千代工場	ブロイラー													
	成 鶏	219,472	201,794	163,783	187,697	182,704	236,662	186,485	171,946	225,282	208,806	130,338	223,149	2,338,118
	計	219,472	201,794	163,783	187,697	182,704	236,662	186,485	171,946	225,282	208,806	130,338	223,149	2,338,118
株式会社 社 但馬どり 但馬食鶏流通センター	ブロイラー	628,869	638,203	624,355	626,979	624,836	569,443	677,252	627,824	743,438	605,651	610,773	635,811	7,613,434
	成 鶏													
	計	628,869	638,203	624,355	626,979	624,836	569,443	677,252	627,824	743,438	605,651	610,773	635,811	7,613,434
協和食品 株式会社	ブロイラー	141,799	157,380	153,309	146,580	148,688	139,491	161,559	163,471	186,976	168,693	161,729	164,054	1,893,729
	成 鶏													
	計	141,799	157,380	153,309	146,580	148,688	139,491	161,559	163,471	186,976	168,693	161,729	164,054	1,893,729
淡路フーズ 株式会社	ブロイラー	143,995	146,272	142,069	143,601	138,700	142,920	161,701	142,166	175,928	142,463	140,132	150,203	1,770,150
	成 鶏			35										35
	計	143,995	146,272	142,104	143,601	138,700	142,920	161,701	142,166	175,928	142,463	140,132	150,203	1,770,185
合 計	ブロイラー	942,033	971,013	950,206	948,555	944,111	883,410	1,033,573	964,056	1,144,470	947,414	943,049	980,099	11,651,989
	成 鶏	375,765	377,425	307,406	294,712	313,486	336,771	334,820	302,978	346,435	360,894	207,207	374,496	3,932,395
	計	1,317,798	1,348,438	1,257,612	1,243,267	1,257,597	1,220,181	1,368,393	1,267,034	1,490,905	1,308,308	1,150,256	1,354,595	15,584,384



## 5 と殺、内臓の摘出禁止又は廃棄したものの原因別羽数

疾病等	禁 止		全 部 廃 棄		一 部 廃 棄	
	ブロイラー	成鶏	ブロイラー	成鶏	ブロイラー	成鶏
処分実羽数	89,706	27,345	44,713	25,239	337,908	110,738
鶏白血病				223		
マレック病			2,228			
大腸菌症	4	3	11,274	70		
ブドウ球菌症	1		70	1		
変 性					1,261	93
水 腫						
腹 水 症	7,449	11,204	20,085	73		
出 血		600	6		125,279	89,984
炎 症	14,056	372	6,012		189,915	856
腫 瘍		1	2	24,407		175
臓器の異常な形等					2,337	
黄 疸			1			
外 傷	882	61	76	465	1,193	
削瘦及び発育不良	54,756	6,741	1,038			
放血不良	11,251	8,341	3,910			
湯漬過度	1,307	20	11			
そ の 他		2			17,923	19,630
合計(延羽数)	89,706	27,345	44,713	25,239	337,908	110,738

## 6 精密検査実施後の合格件数

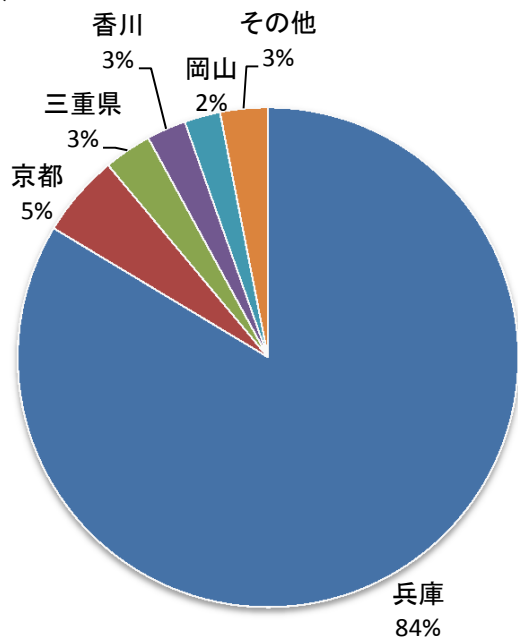
検査対象 疾病等の内訳	検査延羽数	検査延件数	合格
マレック病	1	7	
大腸菌症	5	5	
変性	8	11	
炎症	7	7	
腫瘍	1	1	
合 計	22	31	

## 7 産地別検査羽数

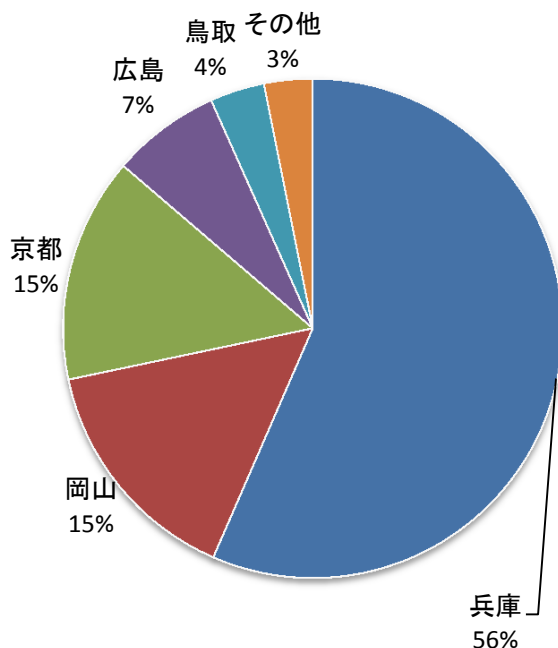
平成27年4月1日～平成28年3月31日までの食鳥処理羽数

産地	種類	ブロイラー	成鶏	計
兵庫県		9,745,070	2,222,728	11,967,798
滋賀県			10,417	10,417
静岡県			7,860	7,860
愛知県		0	23,926	23,926
三重県		359,518	1,988	361,506
京都府		621,138	573,111	1,194,249
和歌山県		174,823	20,709	195,532
鳥取県		123,543	138,787	262,330
島根県			11,352	11,352
岡山県		270,741	596,980	867,721
広島県			277,067	277,067
香川県		296,585	47,470	344,055
徳島県		5,171		5,171
福井県		55,400		55,400
合計		11,651,989	3,932,395	15,584,384

(1)産地別ブロイラー検査羽数



(2)産地別成鶏検査羽数



### 8 認定小規模食鳥処理場の確認状況

		食肉衛生検査センター	西播磨食肉衛生検査所	但馬食肉衛生検査所	淡路食肉衛生検査所	計
施設数		38	9	13	6	66
処理した食鳥の種類及び処理羽数	ブロイラー	169,698	4,564	73,172	6,650	254,084
	成鶏	12,756	57,917	109,240	0	179,913
	あひる	0	0	6,002	0	6,002
	七面鳥	0	0	0	0	0
	その他					0
	合計	182,454	62,481	188,414	6,650	439,999
基準に適合した羽数		182,390	60,233	186,148	6,647	435,418
基準に適合しなかった羽数 (法第19条に基づく措置)		64	2,248	2,266	3	4,581

# 第2章 検査事業

## 【モニタリング検査】



# 1 残留有害物質モニタリング検査

区分 検査所	抗生物質試験								合成抗菌剤試験					その他動物用医薬品試験					国産食肉残留農薬試験					
	牛		豚		鶏		計	判定結果		牛	豚	鶏	計	判定結果	牛	豚	鶏	計	判定結果					
	筋肉	腎臓	筋肉	腎臓	筋肉	腎臓		陽性	陰性											筋肉	筋肉	筋肉	筋肉	筋肉
食肉衛生 検査センター	7	7			13	13	40		40	3		2	5	検出せず	2		1	3	検出せず	3		1	4	検出せず
西播磨食肉 衛生検査所				16	16		32		32		4		4	検出せず		3		3	検出せず		4		4	検出せず
但馬食肉 衛生検査所	5	5			14	14	38		38	1		3	4	検出せず	1		1	2	検出せず	1		2	3	検出せず
淡路食肉 衛生検査所	4	4			5	5	18		18	1		1	2	検出せず			1	1	検出せず			1	1	検出せず
合計	16	16	16	16	32	32	128		128	5	4	6	15	検出せず	3	3	3	9	検出せず	4	4	4	12	検出せず

# 第3章 食肉安全対策事業





## 1 食肉センター及び食鳥処理場の衛生指導事業

### <衛生指導講習会等実施内容>

- 1) と殺解体・食鳥処理施設の衛生について
- 2) 食肉センター・食鳥処理施設の清掃及び機器の衛生管理について
- 3) 廃棄された獣畜・食鳥の適正処理について
- 4) 汚水処理施設の適正な維持管理について
- 5) 時間外と畜・食鳥処理の対応について
- 6) と殺解体・食鳥処理機器の点検整備について
- 7) O157対策について
- 8) HACCP システムについて

検査所	講習対象※	実施回数	延べ人数
食肉衛生検査センター	① ④ ⑤ ⑥ ⑦	13	170
西播磨食肉衛生検査所	① ② ③	12	113
但馬食肉衛生検査所	⑤ ⑥ ⑦	2	190
淡路食肉衛生検査所	① ② ④ ⑤ ⑥ ⑦	4	98

### ※講習対象

- ① 食肉組合関係者
- ② 食肉センター作業員
- ③ 内臓処理業者
- ④ 食肉センター職員
- ⑤ 食鳥処理衛生管理者
- ⑥ 食鳥処理従業員
- ⑦ その他 食肉センター設置者及び管理者

## 2 研修等の受け入れ状況

	年月日	団体等の名称	人数	目的	検査所
1	H26.5.12	農業共済家畜診療所	5	施設並びに検査体制の見学	食肉衛生検査センター
2	H26.6.13	大学生	14	施設並びに検査体制の見学	食肉衛生検査センター
3	H26.8.18	獣医大学生	1	施設並びに検査体制の見学・実習	食肉衛生検査センター
4	H26.9.3	家保職員、獣医大学生	8	施設並びに検査体制の見学	食肉衛生検査センター
5	H27.3.20	家保職員、獣医大学生	4	施設並びに検査体制の見学	食肉衛生検査センター

### 3 食肉検査業務にかかる見学等の受け入れ状況

#### <見学内容>

- 1) と畜場法等法令関係について
- 2) BSE 検査の実施及び安全対策について
- 3) 食中毒の防止等について
- 4) 施設内での衛生対策について
- 5) 食育について
- 6) 食肉センター等施設見学

検査所	講習対象※	実施回数	延べ人数
食肉衛生検査センター	① ② ③ ④ ⑤	53	505
西播磨食肉衛生検査所	① ② ③ ④	11	178
但馬食肉衛生検査所	④	1	4
淡路食肉衛生検査所	④	2	14

#### ※講習対象

- ① 一般消費者
- ② 教育関係機関
- ③ 食品関係業者
- ④ 行政機関
- ⑤ その他（人権団体、農業共済組合職員、宗教関係者）

### 4 食肉検査等にかかる外部講習会

#### <講習等実施内容>

上記「3 食肉検査業務にかかる見学等の受け入れ状況」の見学内容の1)～5)と同じ

検査所	講習対象※	実施回数	延べ人数
食肉衛生検査センター	① ② ③ ④	4	232
西播磨食肉衛生検査所	① ② ③ ④	6	315
但馬食肉衛生検査所	① ②	7	158
淡路食肉衛生検査所	① ④	2	27

#### ※講習対象

- ① 一般消費者
- ② 教育関係機関
- ③ 食品関係業者
- ④ その他 食肉センター作業員、JICA 研修生、行政機関、農業共済組合職員

## 5 食肉検査データ還元事業(H27年度実績)

### ア 還元希望者

内訳		検査所	検査センター	西播磨	但馬	淡路	計
牛	県内	牛					0
		農協等	1		1	3	5
	県外	生産者					0
		農協等					0
豚	県内	生産者					0
		農協等					0
	県外	生産者		3			3
		農協等		2			2
鶏	県内	生産者					0
		農協等	3		2	1	6
	県外	生産者					0
		農協等					0
合計			4	5	3	4	16

### イ 還元頭数

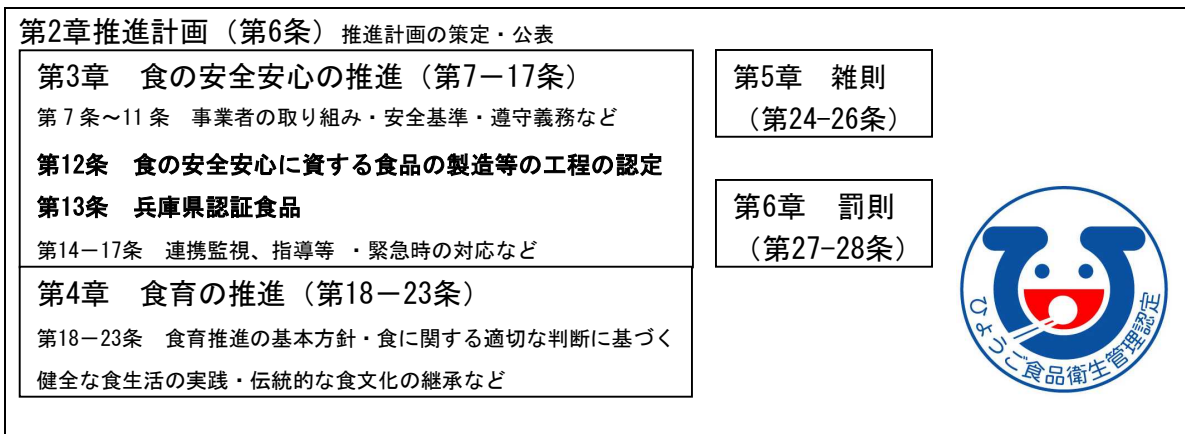
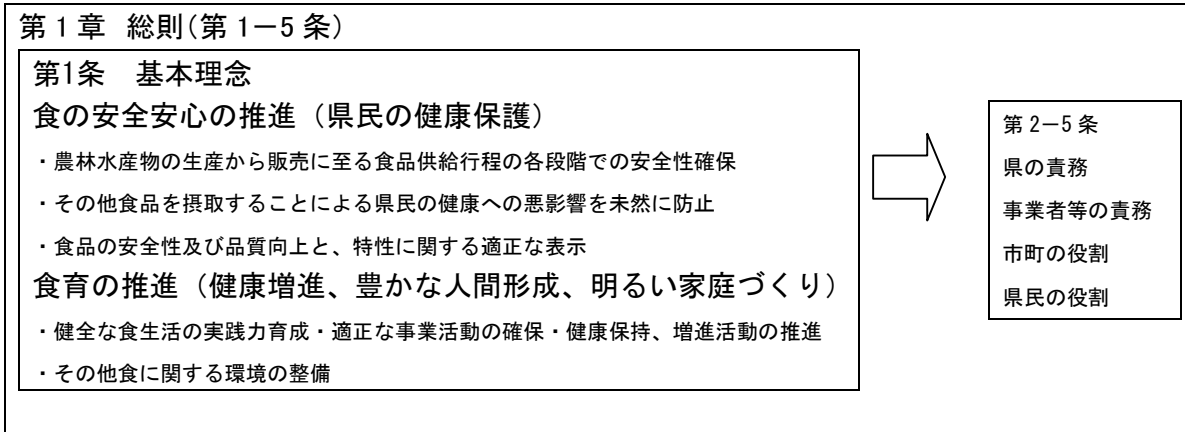
検査所		検査センター	西播磨	但馬	淡路	計
内訳						
牛		8,592		1,275	2065	11,932
豚			13,586			13,586
鶏		4,307,036		9,507,163	1,770,185	15,584,384
計		4,315,628	13,586	9,508,438	1,772,250	15,609,902

## 6 「食の安全安心と食育に関する条例」の制定と兵庫県食品衛生管理プログラム

### (1) はじめに

以前より当県では、食の安全安心の提供の一環として、県内食品関連施設について、衛生管理と情報管理について規定した県独自基準に適合した施設に対し、食品衛生管理認定を付与してきた。さらに、食の安全安心の提供及び食育の推進へ努力し、県民の安心できる暮らしの実現を目指し、平成 18 年 4 月 1 日より「条例」が施行された。

### (2) 条例の概要



食の安全安心の推進・食育の推進を柱とし、県、事業者の責務、市町、県民の役割を明確に、また、県独自の食品安全基準の設置や監視指導も実施できることとなっている。

所管部分の第12条では、食品製造等を行う工程で、衛生及び情報管理に関する基準に適合するものを知事が認定し、この工程で製造等された食品はその旨を表示できることとなっている。

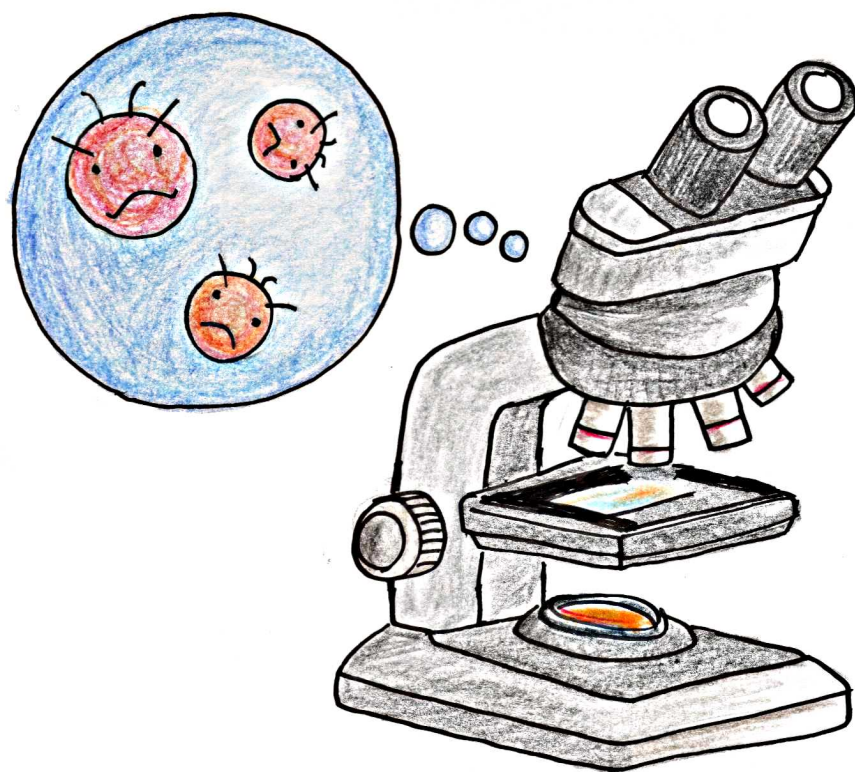
認定対象施設は、食肉センター、大規模食鳥処理場、食肉処理場、食肉販売店、水産食品加工施設、集団給食施設、弁当調製施設、鶏卵選別包装施設、液卵製造施設、菓子・パン製造施設、豆腐類製造施設、めん類製造施設である。

### (3) 検査センター及び各検査所の取り組み状況

平成 14 年度に大規模食鳥処理場の但馬養鶏農協が第 1 号の認定施設となり、平成 28 年 3 月現在、関連する施設では大規模食鳥処理場 2 件、食肉処理場 3 件が認定されている。

今後もこの条例に基づき、更に認定施設を増やすべく、事業者に対して積極的に指導・助言を行い、安全・安心な食品の提供に取り組んでいる。

## 第4章 研修・調査研究



## 1 食肉衛生検査センター内研修

微生物、病理、理化学の各部会では、基礎的知識・技能修得及び技術向上のため、食肉衛生検査センター内研修及び調査研究を実施している。

また、関係機関が開催する各種の県外研修等に参加し、資質の向上を図っている。

部 会 名	内 容
微生物部会	食肉センター及び食鳥処理場における枝肉、食鳥と体等の細菌汚染調査 全部廃棄等の原因となった細菌の同定 迅速細菌同定方法の研究 炭疽実習
病理部会	獣畜に発生した腫瘍等の調査研究 ・カラーアトラスの作成 食鳥検査で見られた疾病の調査研究 ・カラーアトラスの作成 免疫染色による腫瘍の調査研究
理化学部会	尿毒症、黄疸の調査研究 食肉の残留有害物質モニタリング検査 GLPの実施と標準作業書等の改訂

## 2 調査研究発表・演題一覧(平成 21 年度～平成 27 年度)

年	演題	発表者	学会名	年月日
平成 21 年度	豚と畜場における高度衛生管理確立のための 病原体汚染実態調査	柴折 浩幸	日本獣医公衆衛生学会(近畿)	H21.10.18
	食鳥処理場での微生物汚染制御において、罹 患鳥を汚染要因として考えた場合の危険性と対 策について	坂江 博	"	"
	"	"	全食協近畿ブロック研修会	H21.11.5
	牛の筋肉内腫瘍 2 症例について	木村 聡	"	"
	"	"	全国食肉衛生技術研修会	H22.1.20
	食鳥処理場における微生物モニタリング検査に ついて	赤尾 浩史	全食協近畿ブロック研修会	H21.11.5
	大規模食鳥処理場における薬剤耐性調査 大規模食鳥処理場におけるカンピロバクター薬 剤耐性調査 淡路食肉センターにおけると畜検査状況	金森 恭子 " 齋藤 竜彦	" 全国食鳥肉衛生技術研修会 淡路地域畜産技術成果・事例発 表会	" H22.1.26 H22.2.19
平成 22 年度	食鳥処理場における微生物モニタリング検査 ボツリヌス菌中毒牛の取扱いについて	赤尾 浩史 岡畑 一幸	日本獣医公衆衛生学会(近畿) 全食協近畿ブロック研修会 全国食肉衛生技術研修会	H22.10.10 H22.10.27 H23.1.17
	"	"	"	"
平成 22 年度	大規模食鳥処理場における内臓摘出作業手順 の改善指導結果について	樽井 美和	全食協近畿ブロック研修会	H22.10.27
	"	"	全国食鳥肉衛生技術研修会	H23.1.24
	豚の多臓器に認めた腫瘍	阿部 晃久	全食協第 62 回病理研修会	H22.11.18
	農場および食鳥処理場におけるカンピロバクテ ーの汚染実態調査 淡路島内の乳用牛におけるサルモネラ属菌保 有状況調査	西田 清実 加茂前仁弥	鶏病研究会兵庫県支部技術研修 会 淡路地域畜産技術成果・事例発 表会	H22.11.24 H23.2.21
平成 23 年度	農場及び食鳥処理場におけるカンピロバクテ ーの汚染実態調査	若林 明世	日本獣医公衆衛生学会(近畿)	H23.9.2
	"	"	全食協近畿ブロック研修会	H23.11.4
	"	"	全国食鳥肉衛生技術研修会	H24.2.16
	食肉衛生に係る消費者啓発への取組	堤 淳	全食協近畿ブロック研修会	H23.11.4
	"	"	全国食肉衛生技術研修会	H24.2.14
過去5年間のと畜検査における疾病の発生状 況	松本 瞳	淡路地域畜産技術成果・事例発 表会	H24.2.20	

平成 24 年度	豚の肝臓に認めた腫瘍	岡畑 一幸	全食協近畿ブロック研修会病理 検査担当者会議	H24.8.17
	牛の鼻鏡の腫瘍	松本 瞳	〃	〃
	と畜検査データベースの構築について	鈴木 雅和	全食協近畿ブロック研修会	H24.10.31
	加古川食肉センターにおける微生物学的衛生 対策 ～枝肉の衛生管理～	坂江 博	日本獣医公衆衛生学会(近畿)	H24.10.14
	〃	〃	全食協近畿ブロック研修会微生物 検査担当者会議	H24.10.31
	処理場における異常鶏の集団発生とその対応	宮田 静	日本獣医公衆衛生学会(近畿)	H24.10.14
	〃	〃	全食協近畿ブロック研修会微生物 検査担当者会議	H24.10.31
平成 25 年度	管内食肉センターで発生した Histophilus somni 感染による敗血症事例	松本 瞳	日本獣医公衆衛生学会(近畿)	H24.10.14
	〃	〃	全食協近畿ブロック研修会	H24.10.31
	〃	〃	日本獣医学会学術集会	H25.2.9
	地方病性牛白血病の宿主発症要因の一考察	斉藤恵津子	全食協近畿ブロック研修会	H24.10.31
	〃	〃	全国食肉衛生技術研修会	H25.1.22
	管内食肉センターで発生した口蹄疫疑い事例の 対応	斉藤恵津子	全食協近畿ブロック研修会	H25.11.1
	消費者への食肉リスクコミュニケーション事業の 推進	齋藤 亨	全国食肉衛生技術研修会 全国公衆衛生獣医師協議会	H26.1.21
平成 26 年度	牛の胸腔内腫瘍	小山田祥子	全食協病理研修会	H25.11.14
	牛の子宮腫瘍について	椿野 昌子	全食協近畿ブロック研修会	H25.11.1
	兵庫県食品衛生管理プログラム認定取得に向 けた大規模食鳥処理場の衛生対策に関する考 察	荻田 堅一	全食協近畿ブロック研修会	H25.11.1
	鶏の盲腸扁桃	大田智美	全食協病理研修会	H26. 5.15
平成 27 年度	非定型的な牛白血病 5 例の病理学的検索	大田智美	全食協近畿ブロック研修会	H27. 1.20
	管内大規模食鳥処理場における深胸筋変性症 の多発事例	大原信弥	全国食肉衛生技術研修会 全食協近畿ブロック研修会 全国食鳥肉衛生技術研修会	H26.10.29 H27. 1.22
	牛白血病に関する近年の動向について	夫津木恵子	全国公衆衛生獣医師協議会	H27.9.4
平成 27 年度	牛の副腎腫瘍	山本司	全食協近畿ブロック研修会病理 検査担当者会議	H27.9.25
	肉用鶏に見られた Lawsonia intracellularis による 増殖性腸炎	大田智美	全食協近畿ブロック研修会	H27.10.21
	豚流行性下痢(PED)発生農場から搬入された豚 について	岡畑一幸	全国食鳥肉衛生技術研修会 全食協近畿ブロック研修会	H28. 1.21 H27.10.21
	子どもたちに向けた啓発活動のスタートアップ ～地域への拡がりを目指して～	中本雅也	全食協近畿ブロック研修会	H27.10.21
	牛の下顎腫瘍	大原信弥	全食協近畿ブロック研修会	H27.10.21
	牛の肝臓周囲の腫瘍	大田智美	全国食鳥肉衛生技術研修会 全食協病理研修会	H28. 1.21 H27.11.19





平成28年度事業概要  
(平成27年度実績)

編集・発行

兵庫県食肉衛生検査センター

〒675-0332

兵庫県加古川市志方町横大路36-1

TEL 079-452-0945

FAX 079-452-3485

E-Mail [shokunikueisei@pref.hyogo.lg.jp](mailto:shokunikueisei@pref.hyogo.lg.jp)